

1 名 称 仙台市科学館常設展リニューアル記念

「海と生きもの探検記」 英題" Explore the Ocean and Marine Life"

2 趣 旨

- (1) 本展は、地球の表面の約 3 分の 2 を覆う海と海に生息する生物をテーマに、アメリカ自然史博物館が企画した"Unseen Oceans 展"で展示された映像やサメに関するパネル展示"Sharks(2D)"を日本初公開し、来館者の「海」に関する興味関心を高める。
- (2) 海洋生物の剥製や模型、骨格標本等の展示や関連する映像展示などを通して、来館者が海洋生物の生態について基本的な知識を学ぶ場を提供する。また、研究が進められている蛍光生物や深海底掘削調査に関する最新の研究成果を紹介する。
- (3) 海洋には多様な生物が生息しており、多様性に富んだ生態系が成立している。近年では、気候変動と海洋の関わりについて関心が高まっており、海洋調査研究が活発に行われている。本展を通して、生命の尊さと大切さを伝えとともに、それを支える調和ある海洋環境を未来へ引き継ぐことの大切さを普及・啓発する。

3 開催期間 2025 年 7 月 19 日（土）～同 8 月 24 日（日） 開催日数 33 日間

休館日 7 月 22 日（火）、28 日（月）、8 月 4 日（月）、18 日（月）（期間中休館 4 日間）

※8 月の保守点検は、8 月 21 日（木）から 8 月 28 日（木）に変更する。

4 会 場 仙台市科学館

2 階 特別展示室、第 3 実験室、第 4 実験室前 他

3 階 エントランスホール、企画展スペース

5 主催・共催・後援等（予定）

(1) 主催 仙台市教育委員会

(2) 主管 仙台市科学館

(3) 協力機関 アメリカ自然史博物館（AMNH）、国立科学博物館、海洋研究開発機構（JAMSTEC）

沖縄美ら島財団総合研究所、東京大学大気海洋研究所、仙台うみの杜水族館

産業技術総合研究所地質調査総合センター、仙台市八木山動物公園

おしかホエールランド、みちのく古生物研究会

(4) 協力者 東北大学 Cheryl Lewis Ames 氏、京都市動物園 工藤宏美 氏

帝京科学大学 青木かがり 氏、名城大学 檜崎友子 氏

(5) 後援 宮城県教育委員会

6 入館料

仙台市科学館条例第五条第二項に基づき、特別展の入館料を下記のとおり定める。

一般：1,000 円 高校生：600 円 小学生・中学生：300 円

特別展の入館料を納入したものは、常設展を無料とする。

7 展示概要

海に囲まれた島国である日本は、古来より海のめぐみを享受し、海とともに暮らしてきた。近年、気候変動と海洋の関わりについて関心が高まっており、海水温上昇や海洋酸性化等の海洋環境や海洋生態系に対する影響を把握する研究等が国内外で活発に行われている。国連は、2021 年からの 10 年間を「持続可能な開発のための国連海洋科学の 10 年」と定め、本年はその 5 年目となる。本展では、国内外の海洋調査

研究の一部を紹介するとともに、海洋生物の剥製や模型等の標本を約 50 点展示する。

メガマウスザメは、プランクトン食性のサメの一つである。1976 年にハワイで捕獲され、国内では 1989 年に静岡県で初めて発見された。宮城県では、2007 年に石巻市で 1 体水揚げされている。目撃例や捕獲例も限られており、生態には未知な点が多い。本展では、2006 年に神奈川県に定置網に入網したメガマウスザメ(*Megachasma pelagios*)の剥製(体長 5.7m)を東北初公開する。また、剥製として世界最大級(体長 5.0m)のホホジロザメ(*Carcharodon carcharias*)を展示する。さらに本展では、アメリカ自然史博物館が製作したサメに関するパネル展”Sharks(2D)”を日本初公開する。

アメリカ自然史博物館に所属している学芸員がソロモン諸島やグリーンランド等で蛍光生物の調査を行い、250 種を超える海の生物が蛍光を発していることが明らかとなった。その調査の様子を映像で展示する。国内では、沖縄美ら島財団総合研究所が蛍光生物の調査を行っており、蛍光を発することが明らかとなった生物の模型を展示する。

2024 年 9 月から 12 月にかけて宮城県沖で東北地方太平洋沖地震を起こした断層の掘削調査航海(通称 JTRACK)が行われた。宮城県沖の海底下は、どう変化したのか。その調査から明らかになった成果を紹介する。

さらに、日本の学術調査隊が 1980 年代に捕獲したシーラカンスの魚拓、ラッコやアザラシ等の海棲哺乳類の剥製、2023 年に仙台市若林区荒浜に漂着したスジイルカの全身骨格標本等を展示し、三陸で生息するウミガメの生態調査を紹介する。本展の終盤では、アメリカ自然史博物館が製作し、”Unseen Oceans”展で公開した映像の他、しんかい 6500 が撮影した深海の映像を展示する。

来場者は、最新の海洋研究や海洋生物の生態について知ることができ、海洋環境や海洋生態系について考え、調和ある海洋環境を未来へ引き継ぐことの大切さを学ぶことができる。

海の探検気分が感じられるように、以下のリサーチリスト 10 項目をリーフレット等で提示する。「君もリサーチ!」をキャッチフレーズに、注目の展示を紹介する。

それぞれのリサーチ展示には、小学生向けの解説(キッズパネル)を設ける。

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| No.1 砂浜の砂のちがいをしてみよう | No.2 どちらが海水?ふってくらべよう |
| No.3 サンゴの骨格をさわってみよう | No.4 ウミガメの心ぞうの音を聞いてみよう |
| No.5 シーラカンスの大きさを調べよう | No.6 蛍光を発するサメを見つけよう |
| No.7 クジラの鳴き声を聞いてみよう | |
| No.8 ホホジロザメとメガマウスザメの歯のちがいをしてみよう | |
| No.9 スナメリの胸びれの骨を見てみよう | No.10 アザラシとオットセイの耳のちがいをしてみよう |

8 関連イベント

特別展への関心を高めるために、以下の関連イベントを開催する。

- (1) 海の研究講演会① 「海の蛍光生物について(仮)」 7月26日(土)
講師 沖縄美ら島財団総合研究所 主任研究員 宮本 圭 氏
会場 3階チャレンジ・ラボ
- (2) 海の研究講演会② 「演題未定」 7月29日(火)
講師 調整中
会場 調整中
- (3) 海の研究講演会③ 「JTRACKの成果について(仮)」 8月2日(土)
講師 国立開発研究法人 海洋研究開発機構 高知コア研究所 研究員 奥田 花也 氏
会場 3階チャレンジ・ラボ
- (4) 海の研究講演会④ 「東北のウミガメについて(仮)」 8月9日(土)
講師 東京大学大気海洋研究所 准教授 坂本 健太郎 氏
会場 3階チャレンジ・ラボ

- (5) 海の研究体験 「クラゲの研究について(仮)」 8月17日(日)
講師 東北大学大学院農学研究科 教授
兼スミソニアン自然史博物館 無脊椎動物学リサーチアソシエイト Cheryl Lewis Ames 氏
会場 2階第2実験室
- (6) 海のサイエンスカフェ「ブルーカーボンについて(仮)」 8月23日(土)
講師 国立研究開発法人 港湾空港技術研究所 沿岸環境研究グループ グループ長 桑江 朝比呂 氏
会場 3階チャレンジ・ラボ
- (7) 海の生きものとふれ合おう(タッチプール) 7月21日(月・祝)、8月3日(日)
午前の部 10:00~12:00, 午後の部 13:00~15:00
協力 仙台うみの杜水族館
会場 3階エントランスホール
- (8) オーシャンパーク 会期中毎日開催 9:00~16:30(最終受付 16:20)
小学生以下を対象とした海をテーマにした公園(すべり台や砂場、トンネル等を設置)
会場 3階エントランスホール
- (9) 沖縄の海砂でストラップを作ろう
7月21日(月・祝)、8月17日(日)
会場 3階チャレンジ・ラボ
- (10) ペーパークラフト 会期中毎日開催 9:00~16:30(最終受付 16:20)
会場 2階第3実験室
- (11) 企画展「海の生きもの展(仮)」会期中毎日開催 9:00~16:45 会場: 3階企画展スペース
- (12) 特別展示室ガイドツアー 開催日調整中(平日のみ) 午前の部 9:30~10:00 午後の部 15:30~16:00
(8月12日(火)~8月15日(金)は実施しない)

9 運営・広報等

- (1) 展示室内にインストラクターを配置し、見学者への解説や誘導を行い、展示内容の理解を促す。
- (2) 市政だより、科学館 HP、科学館 SNS"X" (令和7年4月新規開設) を活用した広報を積極的に行う。
- (3) 令和7年7月~8月に仙台市地下鉄南北線車内広告や各駅のイベントボードへのポスターの掲示等を行い、広報する。
- (4) 令和7年7月17日(木)または18日(金)に報道関係者向け内覧会を実施する。
- (5) ポスター、リーフレットを制作し、主に市内幼稚園・保育園、小中学校・高校・大学、市内各施設及び宿泊施設等に配布・掲示する。また、東北地区の科学館等施設にポスター及びリーフレットを配布する。
- (6) 売店では、関連グッズを取り扱う。
- (7) 科学館職員が解説する展示ガイド動画を撮影し、館内等で公開する。